

2026 年度 ライフウィズアート助成 対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、アート作品を都民の日常生活の中に根付かせて、アーティストの活動領域を広げる基盤整備を進めることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出すことにつながる取組を支援する「ライフウィズアート助成」を実施しています。

このたび、2026 年度 ライフウィズアート助成の対象事業を決定しました。

今回は 27 件の申請があり、うち **8 件**を採択いたしました（採択率 29.6%）。**助成予定総額は 42,276 千円**です。

■ 2026 年度 ライフウィズアート助成 採択事業一覧

（単位：千円）

申請団体名	申請事業名	活動内容	交付 決定額
森ビル株式会社	ROOFTOP SPACE ART NIGHT PARK by YOSHIROTTEN	TOKYO NODE で開催する「ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH」と連動し、展覧会テーマ「彼方との交信」を都市の屋上空間へ拡張するプロジェクト。会期中、虎ノ門ヒルズ ステーションタワー49 階屋上を舞台に、映像・音楽・霧・光と都市の夜景、自然現象が重なり合う、その日その瞬間にしか存在しない風景を生み出し、誰もが気軽にアートと出会える機会を創出する。	10,500
ユニバーサル アドネットワーク 株式会社	【芸術と社会の持続 的な関わりを実現す る展覧会】 CURATION⇔FAIR Tokyo	学術（価値の体系化）と生活・社会（マーケット＝価値の流通・実装）を接続し、アートをめぐる新たな循環構造を育むプロジェクト。歴史的建築 kudan house を舞台に、キュレーター、アーティスト、ギャラリー等の多様な主体とともに制作・鑑賞・流通・議論を横断的につなぎ、東京における持続可能な芸術文化のエコシステムを実装する。	12,000
THE BLACK FENCE	高井戸芸術祭 2026	高井戸に芸術祭で文化的アプローチを加え、“芸術も楽しめる街 高井戸”として発信し、地域を活性化する。 4 回目となる本展は“アップサイクル”に『高井戸の土地の歴史』を加えてメインテーマとし、杉並区の建築廃材（木材）を再利用した作品公募を行い展示するほか、若手作家と国際的作家の作品を同等にキュレーションし展示する。美術館のような敷居の高さを感じない街中で誰もが気軽に美術を楽しめる環境を提供する。	200

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF	東京ビデオフェスティバル 2027	映像を通じたメッセージの伝達と表現力の向上を目的に、1978 年以来継続開催している国際的な市民参加型の映像祭。 市民ビデオの精神のもと、子どもからシニアまで、プロ・アマ、国籍、性別、職業を問わず、誰もが映像作品を作り、鑑賞し、学び、そして語り合える貴重な場を提供することを目指す。	535
株式会社小野寺匠吾 建築設計事務所	Un/Common Ground	東京を拠点とする一級建築士事務所 Office Shogo Onodera と、英国ロンドンを拠点とする RIBA 認定建築事務所 Denizen Works が共同実施する日英建築交流プログラムの東京フェーズ。 専門的な建築知識を前提とせず、スタッフ常駐解説と参加型公開プログラムを通じて、来場者が「水辺と都市・建築」というテーマを自らの生活と接続しながら考えることができる機会を提供する。	1,205
寺田倉庫株式会社	WE ARE THE HOUSE 一向井山朋子 + 高田冬彦（居候）	アムステルダムを拠点に、ピアノ演奏からインスタレーションまで領域横断的に活動する向井山朋子と、現代社会の風俗やジェンダーのテーマをユーモアと毒気を交えた映像で表現する高田冬彦による協働展示。 ミュージアムという非日常の空間を、あらゆる人に開かれた「家」へと変容させ、鑑賞者が「自身の生活の延長」として現代アートを体験する新たな楽しみ方を提示する。	11,300
特定非営利活動法人 いけぶくろ大明	第 11 回池袋みらい国際映画祭	廃校を活用した生涯学習施設みらい館大明を拠点に、若手映像作家を支援し、都民が同時代の映像作品やアートに触れる機会を創出する映画祭。 上映・展示・トークを通じて、普段インディーズ作品に接する機会の少ない地域住民や広く都民に、映像芸術の入口を開く。	1,636
株式会社 mmmmm	Flying Tokyo #Exhibition edition	メディアアート・ジェネラティブアートに世界的な影響を与えてきた真鍋大度、ザック・リーバーマンと、AI/機械学習アートのパイオニアであるカイル・マクドナルド、3 名の作品展示を通じて AI と人間の関係を考察する。 会期中はトーク・ワークショップも実施し、若い世代へのノウハウ継承と、AI 時代におけるテクノロジーとの関係構築を参加者と共に考える。	4,900

助成対象期間：2026 年 9 月 1 日以降に開始し、2027 年 8 月 31 日までに終了する活動

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
活動支援部助成課 支援デザイン係：角南、佐藤
TEL：03-6256-8433 E-mail：lw-josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
企画部広報課 広報担当：関次、柳生
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp